

青天

令和6年3月5日発行
7号

3学年 学年だより

3学年主任・2組担任 鈴木 茂彦先生から皆へ

「3年間」という月日は、これからの長い道のりを歩んで行くみなさんにとっては、ほんのわずかな期間かもしれませんが、この高校生活の3年間の経験は、今後の人生の方向を決めてしまうほど大きな、そして貴重な経験だったと思います。

私は、この3年の間、来る日も来る日も、考え続けてきました。「どうすれば、みなさんが自信を付け、のびのびと、生き生きと将来に進んでいけるのか。」休日も気が付くとそんなことを考えていて、休めたと思える日は、正直に言うと、あまりありませんでした。しかし、それが人と付き合っていくことであり、皆さんと接することだと、私は思っていました。

それは卒業式のみなさんの「自信に満ち溢れた表情」に必ず繋がると思っていたからです。ただ、それだけを信じて、私は過ごしてきました。そして今日、みなさんと過ごした、この3年間は、私の生涯の思い出となりました。

真剣な相手への想いは、いつかその人の心を動かし、その人の持っている良さに気づかせることが出来ます。「人の成長を見届けること。」これを超える喜び、充実感はないと思います。保護者の方々の子どもたちに対する想いには、到底かなうものではありませんが、一生懸命に毎日過ごしていらっしゃる保護者の皆さまの想いに似ていると思います。みなさんが成長する姿を見守ることが出来、また、今日という日を迎えられ、本当にうれしく思います。

最後にみなさんに伝えたいこと。それは“感謝の気持ちを持ち、それを表現する。”ということです。どうか、周囲の方への感謝を忘れない人、そして、その気持ちを素直に伝えることの出来る人、になっていって下さい。また、今日まで培った自信を持ち続けて、これからの人生をのびのびと、生き生きと進んで行ってください。いつまでも応援しています。

保護者の皆さま、これまでの温かいご支援と多大なご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございます。お陰様で生徒たちはこの三年間で見違えるほど大きく、そして強く成長しました。我々がお家の方々のご期待に沿える教育を施せたかどうか、自問自答することも多いですが、最後まで、厚い信頼をお寄せいただいたこと、心より感謝申し上げます。

3学年副主任・1組担任 内野 慎一郎先生から皆へ

世界には、およそ80億人の人達が生活をしています。この学年にいるのは、そのうちのたったの119人です。その中で、日本という国に生まれて、文理学院に入学し、同じ校舎内で過ごしてきました。いくつもの偶然、奇跡の積み重ねがあって集まった皆と過ごしてきた高校生活は、どのような時間となりましたか。

入学後、初めてのバス旅行で食べたご飯の味。臨海教室で、沖縄に足を運び真剣に学んだ平和学習。そして、飲食企画が復活し、多くの来場者で賑わった3年次の文化祭など、どれも決して忘れることのない大切な思い出になったはずです。入学から3年が過ぎ、入学当初よりも自信に満ちた表情になって卒業を迎える君たちの姿を見られることを大変嬉しく思っています。

さて、「出会いがあるから人生は素晴らしい。別れがあるから人生は美しい。」という言葉があります。出会いがあれば、必ず別れがあります。人間は、人との出会いによって、大きく成長するものです。別れは寂しいものですが、それは、出会いが素晴らしいものだった証なのではないでしょうか。「いつまでも別れたくない」と思えるような素晴らしい出会いに感謝し、次の世界でも素晴らしい出会いを見つけていってください。

そして、皆さんには、どうしても忘れてもらいたくないことがあります。それは、これまでどのようなことがあっても君たちの傍で支えてくれていた人たちのことです。卒業式という大きな節目の日に、是非感謝の気持ちを伝えてみてください。

4月から皆さんはそれぞれの進路先に進みます。初めは新しい環境に慣れるのに苦労すると思いますが、文理学院での経験を活かして、何事にも意欲的に挑戦し続けていってください。

卒業おめでとう!

3年間様々な経験をしましたね。日々の学校生活や体育祭、文化祭、バス旅行に修学旅行など楽しかった思い出が沢山あることでしょう。しかし、その思い出の中には楽しいだけでなく、多くの困難や悩みがあったはず。そして、そこから多くのことを学び、成長してきましたね。アルベルト・アインシュタインは「情報は知識にあらず。知識とは唯一経験から得られるものだ。」という言葉を残しています。みんなは、文理での経験を通じてこれからの人生を豊かにする為の、知識をしっかりと得ています。ですが、まだまだ知識は十分ではありません。自信を持って一歩一歩、歩いていき更に多くの知識を獲得してください。

3年3組担任 玉谷 圭

卒業おめでとう!

ついに学年だよりも最終号となりました。毎回の準備の中で「今回は皆に何を伝えよう?」といつもじっくりと考えてきました。なぜなら言葉とは、人間の心を育てる大切な「栄養素」だからです。人間は、日々コミュニケーションを取って生きていますよね。まるで、植物が光や水という栄養素が必須のように、人間にとって言葉とは、必要不可欠な存在です。これは私が今まで皆に何より伝えなかったことでした。どうか、様々な人との対話を大切にして、その会話から沢山の栄養を摂り、更に大きく成長してください。これからも皆さんのことを応援しています。

3年4組担任 河上 美紗

ご卒業おめでとうございます。

3学年からこの学年の副担任になりましたが、日々の学校生活や行事を通して、皆さんが逞しく成長する姿を見ることができました。この3年間は楽しいことや辛いこと、苦しいこともあったでしょう。しかし、友人やクラスメイトと共に切磋琢磨し、仲を深めたことは皆さんの大きな財産となったはず。皆さんは4月から新しい環境に身を置き、今までにない経験を積み上げていくこととなります。疲れた時は立ち止まり、自身が歩んできた軌跡を振り返ってみましょう。そうすることで、再び歩むための原動力になります。進む速度は人によって違います。無理をせず、一歩ずつ確実に前進し、素敵な人になってください。

皆さんのこれからの活躍を心より願っております。

3学年副担任 バトラー マイケル

ご卒業おめでとうございます。

皆さんはこの学び舎を、それぞれの思い出を抱えて巣立っていくことと思います。その中には、楽しかった思い出もあれば、苦い経験もあるでしょう。人生山あり谷ありという言葉がぎゅっと3年間に詰め込んだものが青春、なのではないでしょうか。勉強して、あるいは教えてもらって得た知識は、もちろんとても大切なものです。しかし、私が最も価値があると思うのは、自分自身で経験したこと。その結果が失敗だったとしても、そのために自分で考え、実行したこと全てが、何よりの財産です。これから多くの困難が立ちはだかったとしても、失敗を恐れず、経験を力に変えていってくれることを願っています。

3学年副担任 阿部 咲恵